

平成21年度

羽島市における石綿の健康リスク調査報告書

羽島市

# 羽島市における石綿の健康リスク調査報告書

## 目次

1. 目的 .....	1
2. 平成 21 年度石綿の健康リスク調査	
1) 内容 .....	1
(1) 調査対象者 .....	1
(2) 調査内容 .....	1
(ア) 羽島市保健センターにおける確認 .....	1
(イ) 精密診断 .....	1
(ウ) 経過観察 .....	2
(エ) データの解析 .....	2
2) 結果 .....	
(1) 協力者数 .....	2
(2) 協力者の受診状況 .....	3
(3) 協力者の医学的所見・ばく露歴の整理 .....	3
3) まとめ .....	3
3. 平成 19 年から 21 年度石綿の健康リスク調査	
1) 結果 .....	5
(1) 協力者数 .....	5
(2) 協力者の受診状況 .....	5
(3) 協力者の医学的所見・ばく露歴の整理 .....	5
2) まとめ .....	5
4. 今後の予定 .....	7
5. 参考資料 .....	7

## 1. 目的

一般環境を経由した石綿ばく露による健康被害の可能性があった羽島市において、石綿ばく露の可能性があったと思われる周辺住民に対して、問診、胸部 X 線検査、胸部 CT 検査等を実施することにより、石綿ばく露の医学的所見である胸膜プラーク等の所見の有無や健康影響との関係に関する知見を収集し、石綿ばく露歴や、石綿関連疾患の健康リスクに関する実態把握を行うとともに、周辺住民への健康増進に資する。

## 2. 平成 21 年度 石綿の健康リスク調査

### 1) 内容

#### (1) 調査対象者

昭和 51 年以前に羽島市に居住歴があり、一般環境を経由した石綿ばく露による健康被害の可能性がある者を調査対象者として、市広報等により募集した。

また、平成 20 年度の石綿の健康リスク調査受診者にも検診案内を送付した。

#### (2) 調査内容

##### (ア) 羽島市保健センターにおける確認

羽島市保健センターにおいて、応募者に対し、保健師または看護師が、問診票(資料 1)を用い問診を実施した。問診の結果、石綿ばく露の可能性が認められた者に対し、本調査事業の説明、調査協力に対する同意をとり、調査登録台帳への登録を行った。また、胸部 X 線検査、胸部 CT 検査等の精密診断の実施に当たっては、羽島市が指定する医療機関(羽島市民病院、長良医療センター)への紹介状及び受診券を発行した。

なお、既に他医療機関等で胸部 CT 検査など精密診断を受けている場合には、本人の承諾を得て、その検査実施医療機関より胸部 CT フィルムなどの検査結果の提供を受けた。

##### (イ) 精密診断

調査協力者は、羽島市が発行した紹介状(資料 2、資料 3)及び受診券(資料 4、資料 5)を指定医療機関に提出し、受診した。ここでは、胸部 X 線検査、胸部 CT 検査(原則数年に 1 回。既に他の医療機関で受診した場合はそのデータを活用し、初回時は省略。)を行った。

読影は羽島市石綿ばく露健康リスク調査専門委員会(資料 6)において行い、医学的所見を確認の上、次のとおり振り分け、検査の結果を調査対象者に通知した。

##### 【医学的所見による振り分けの考え方】

- ① 石綿健康被害救済法の対象疾病となった者は、その時点で調査終了とする。
- ② 石綿ばく露に関する医学的所見が認められる者のうち、医療の必要がない

と判断された者は、経過観察とする。

- ③ 石綿ばく露に関する医学的所見が認められる者のうち、医療の必要があると判断された者は、調査終了とするが、治療終了後に経過観察者に含めることは妨げない。
- ④ 石綿ばく露に関する医学的所見が認められない者のうち、医療の必要がないと判断されたものは経過観察とする。
- ⑤ 石綿ばく露に関する医学的所見が認められない者のうち、他の疾病の所見がみられ、医療の必要があると判断された者は、調査終了とするが、治療終了後に経過観察者に含めるることは妨げない。

#### (ウ) 経過観察

前記【医学的所見による振り分けの考え方】で②または④と判断された者は、羽島市から受診券の発行を受け、年1回指定医療機関において精密診断(胸部 X 線検査、必要に応じ胸部 CT 検査、病理組織検査等)受診予定とした。なお、精密診断の内容及び必要性の可否は羽島市石綿ばく露健康リスク調査専門委員会が判断した。

また、調査協力者のうち、ニチアス㈱羽島工場が平成 17・18 年度に工場周辺住民に対して実施した健康診断受診者で要経過観察となった者については、平成 21 年度以降もニチアス㈱羽島工場による健康診断を受診するため、本人の承諾を得て、検査実施医療機関より胸部 CT フィルムなどの検査結果の提供を受けた。

#### (エ) データの解析

上記(ア)～(ウ)の一連の作業について、羽島市石綿ばく露健康リスク調査専門委員会において、医学的な観点からの分析や検討を行った。

## 2) 結果

### (1) 協力者数

問診・胸部 X 線検査、胸部 CT 検査を受診・資料提供した者 420 名

このうち、

① 昭和 51 年以前に羽島市に居住していた者	420 名
② 上記①のうち、現在も市内に居住している者	340 名
③ ①のうち継続で健康リスク調査を受けた者	323 名
④ 平成 21 年度に初めて石綿の健康リスク調査を受けた者	97 名
⑤ ①のうち、平成 17・18 年度にニチアス㈱羽島工場周辺住民健康診断受診者で 21 年度以降もニチアス㈱羽島工場による健康診断を受ける予定の者	89 名

## (2) 協力者の受診状況

調査協力者の受診状況は表1のとおりであった。

調査協力者420人の内訳は、男性172人、女性248人で、年齢は60歳以上の者が全体の66.7%を占めていた。

## (3) 協力者の医学的所見・ばく露歴の整理

協力者の医学的所見・ばく露歴について、A～C表に整理し、取りまとめた。

- ・ A表 昭和51年以前に羽島市に居住していた者のばく露歴集計表
- ・ B表 昭和51年以前に羽島市に居住していた者に関するばく露歴と医学的所見・疾患のクロス集計表
- ・ C図 ばく露歴分類が「オ(その他)」の者に関するプロット図

※居住期間、居住地については羽島市内石綿関連事業所の稼動が昭和18年以降であることから、昭和18年～昭和51年の期間を対象にプロットした。

### 3) まとめ

今年度の調査協力者420名について、問診、胸部X線検査等を実施した結果、次のことが確認された。

- ① 調査協力者420名を環境省指定のばく露歴分類別に見ると、次のとおりであった。

ア 直接石綿を取り扱っていた職歴がある者	47名
イ 直接ではないが、職場で石綿ばく露した可能性のある職歴がある者	28名
ウ 石綿を家庭内に持ち込むことによりばく露した可能性のある者	56名
エ 職域以外で石綿取扱い施設等に立ち入り経験がある者	50名
オ その他ばく露の可能性が特定できない者	239名
- ② 平成20年度調査において経過観察となった345名のうち、今年度323名が受診しており、その結果は、不変224名、新所見53名、その他(所見なし)46名であった。
- ③ 平成20年度調査の受診者で今年度受診していない者は、石綿健康管理手帳取得3名、労災保険認定者2名、治療中4名、その他18名であった。
- ④ 調査協力者420名のうち、医学的所見が認められた者が245名(58.3%)いた。
- ⑤ 医学的所見が認められた者245名のうち、石綿関連所見(疑いを含む)が認められた者が170名(69.4%)いた。
- ⑥ 石綿関連所見が認められた170名のうち、胸膜plaquer(疑いを含む)が認められた者は169名(99.4%)であった。

この169名をばく露歴別に見ると、次のとおりであった。

ア 直接石綿を取り扱っていた職歴がある者 (42.6% 20/47)	20 名
イ 直接ではないが、職場で石綿ばく露した可能性のある職歴がある者 (60.7% 17/28)	17 名
ウ 石綿を家庭内に持ち込むことによりばく露した可能性のある者 (50.0% 28/56)	28 名
エ 職域以外で石綿取扱い施設等に立ち入り経験がある者 (24.0% 12/50)	12 名
オ その他ばく露歴が特定できない者 (38.5% 92/239)	92 名

- ⑦ 具体的なばく露歴が特定できない者 239名について、羽島市内の居住歴を地図上にプロットしたところ、341 プロットになった。また、このうち、胸膜プラークが認められた者 92名のうち 88名に石綿取扱い施設からおおよそ 500 メートル以内の居住歴があった。なお、残る 4名のうち 1名については、勤務先事業所が石綿取扱い施設の近隣にあり、3名は勤務先事業所が石綿取扱い施設に隣接していた。
- ⑧ 具体的なばく露歴が特定できない者の居住地 341 プロットについて、居住期間と胸膜プラークが認められた者との関係について、居住歴 5 年未満で胸膜プラークが認められた者の割合が 35.3% (24/68)、同 5 年以上 10 年未満が 45.6% (36/79)、同 10 年以上 15 年未満が 41.5% (22/53)、同 15 年以上が 36.6% (41/112) であった。
- また、居住歴が 15 年以上で、石綿取扱い施設からおおよそ 500 メートル以内では、胸膜プラークが認められた者の割合が 42.4% (36/85) であった。
- ⑨ 今年度新たに調査に参加した者 97名のうち 48名は石綿取扱い施設に隣接した事業所に勤務していた。48名のばく露歴分類は、石綿を家庭内に持ち込むことによりばく露した可能性のある者 2名。その他ばく露歴が特定できない者 46名であった。48名のうち 41名は事業所内にあった寮に居住しており(石綿を家庭内に持ち込むことによりばく露した可能性のある者(ばく露歴ウ) 2名含む)、このうち 33名(ばく露歴ウ 2名含む)に胸膜プラークの所見が認められた。寮に居住していなかった 7名のうち 3名は石綿取扱い施設から 200m 以内にあった社宅に居住歴があり、3名とも胸膜プラークの所見が認められた。また、寮、社宅のどちらにも居住歴の無い 4名のうち 3名にも胸膜プラークの所見が認められた。寮に居住歴のある者のなかで、胸膜プラークの所見のある者の居住期間は短い者で、1年であった。
- ⑩ 調査協力者 420名のうち、次の 6名が調査終了となり、次年度経過観察とする者は 414名となった。
- ・石綿健康被害救済法適用者(申請中) 2名
  - ・石綿健康管理手帳取得者 3名
  - ・死亡 1名

### 3. 平成 19 年から 21 年度の石綿の健康リスク調査について(まとめ)

#### 1) 結果

##### (1) 協力者数

問診・胸部 X 線検査、胸部 CT 検査を受診・資料提供した者 465 名

このうち、

① 昭和 51 年以前に羽島市に居住していた者	465 名
② 上記①のうち、現在も市内に居住している者	379 名
③ ①のうち、3 年継続で健康リスク調査を受けた者	258 名
④ ①のうち、1 年のみ健康リスク調査を受けた者(含 21 年度のみ受けた者)	122 名
⑤ ①のうち、2 年健康リスク調査を受けた者	85 名
⑥ ①のうち、平成 17・18 年度にニチアス㈱羽島工場周辺住民健康診断受診者で 引き続きニチアス㈱羽島工場による健康診断を受ける予定の者	91 名

##### (2) 協力者の受診状況

調査協力者の受診状況は A 表(累計)のとおりであった。

調査協力者 465 人の内訳は、男性 197 人、女性 268 人で、年齢は 60 歳以上の者が全体の 66.2% を占めていた。

##### (3) 協力者の医学的所見・ばく露歴の整理

協力者の医学的所見・ばく露歴について、A～C 表に整理し、取りまとめた。

- A 表(累計): 調査対象者の受診状況票
- B 表(累計): 昭和 51 年以前に羽島市に居住していた者のばく露歴及び年齢階層別分類表
- C 表(累計): 昭和 51 年以前に羽島市に居住していた者に関するばく露歴と医学的所見のクロス集計表
- D 図(累計): ばく露分類が「オ(その他)」の者に関するプロット図

※居住期間、居住地については羽島市内石綿関連事業所の稼動が昭和 18 年以降であることから、昭和 18 年～昭和 51 年の期間を対象にプロットした。

#### 2) まとめ

平成 19 年から 21 年度の調査協力者 465 名について、問診、胸部 X 線検査等を実施した結果、次のことが確認された。

- ① 調査協力者 465 名を環境省指定のばく露歴分類別に見ると、次のとおりであった。
- |                                  |       |
|----------------------------------|-------|
| ア 直接石綿を取り扱っていた職歴がある者             | 54 名  |
| イ 直接ではないが、職場で石綿ばく露した可能性のある職歴がある者 | 30 名  |
| ウ 石綿を家庭内に持ち込むことによりばく露した可能性のある者   | 63 名  |
| エ 職域以外で石綿取扱い施設等に立ち入り経験がある者       | 55 名  |
| オ その他ばく露の可能性が特定できない者             | 263 名 |
- ② 調査協力者 465 名のうち、医学的所見が認められた者が 277 名 (59.6%) いた。
- ③ 医学的所見が認められた者 277 名のうち、石綿関連所見(疑いを含む)が認められた者が 182 名 (65.7%) いた。
- ④ 石綿関連所見が認められた 182 名のうち、胸膜プラーク(疑いを含む)が認められた者は 180 名 (98.9%) であった。
- この 180 名をばく露歴別に見ると、次のとおりであった。
- |   |      |
|---|------|
| ア 直接石綿を取り扱っていた職歴がある者<br>(46.3% 25/54)             | 25 名 |
| イ 直接ではないが、職場で石綿ばく露した可能性のある職歴がある者<br>(63.3% 19/30) | 19 名 |
| ウ 石綿を家庭内に持ち込むことによりばく露した可能性のある者<br>(47.6% 30/63)   | 30 名 |
| エ 職域以外で石綿取扱い施設等に立ち入り経験がある者<br>(21.8% 12/55)       | 12 名 |
| オ その他ばく露歴が特定できない者<br>(35.7% 94/263)               | 94 名 |
- ⑤ 具体的なばく露歴が特定できない者 263 名について、羽島市内の居住歴を地図上にプロットしたところ、377 プロットになった。また、このうち、胸膜プラークが認められた者 94 名のうち 90 名に石綿取扱い施設からおおよそ 500 メートル以内の居住歴があった。なお、残る 4 名のうち 1 名については、勤務先事業所が石綿取扱い施設の近隣にあり、3 名は勤務先事業所が石綿取扱い施設に隣接していた。
- ⑥ 具体的なばく露歴が特定できない者の居住地 377 プロットについて、居住期間と胸膜プラークが認められた者との関係について、居住歴 5 年未満で胸膜プラークが認められた者の割合が 34.7% (25/72)、同 5 年以上 10 年未満が 39.6% (36/91)、同 10 年以上 15 年未満が 36.5% (23/63)、同 15 年以上が 35.0% (42/120) であった。
- また、居住歴が 15 年以上で、石綿取扱い施設からおおよそ 500 メートル以内では、胸膜プラークが認められた者の割合が 40.4% (36/89) であった。居住期間全てでは、石綿取扱い施設からおおよそ 500 メートル以内で胸膜プラークが認められた者の割合は、43.0% (104/242) であった。

#### 4. 今後の予定

環境省においては、平成22年度からの第2期石綿の健康リスク調査において、対象者数を大幅に増加させるとともに、毎年の検査や健康状況の確認を確実に行い、保健指導などのフォローアップを充実することとしている。当市においても、前年度に受診した者の経過観察を進めるとともに、新たな調査対象者の募集を行い、データの更なる蓄積を図っていく。また、石綿関連所見の変化や石綿関連疾患の発生状況等との比較を行い、石綿ばく露者の中・長期的な健康管理のあり方を検討するための知見の収集に努めていく。

#### 5. 参考資料

- ・ 問診票(資料1)
- ・ 紹介状(資料2、資料3)
- ・ 受診券(資料4、資料5)
- ・ 羽島市石綿ばく露専門委員会名簿(資料6)

# 平成21年度報告書(単年度)様式

表1 指定医療機関別受診者数

指定医療機関名	合計		男		女	
	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)
羽島市民病院	318	75.7%	130	75.6%	188	75.8%
他医療機関(含ニチアス検診)	102	24.3%	42	24.4%	60	24.2%
合 計	420	100.0%	172	100.0%	248	100.0%

表2-1 年齢階層別受診者数

	合計		男		女	
	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)
40歳未満	30	7.1%	16	9.3%	14	5.6%
40~49歳	46	11.0%	18	10.5%	28	11.3%
50~59歳	64	15.2%	22	12.8%	42	16.9%
60~69歳	153	36.4%	53	30.8%	100	40.3%
70~79歳	101	24.0%	46	26.7%	55	22.2%
80~89歳	24	5.7%	15	8.7%	9	3.6%
90~99歳	2	0.5%	2	1.2%	0	0.0%
合 計	420	100.0%	172	100.0%	248	100.0%

※平成22年3月31日現在

表2-2 検査項目別受診者数

受診内容	合計	
	(人)	(%)
問診+胸部X線+胸部CT	127	30.2%
問診+胸部X線のみ	186	44.3%
問診+胸部CTのみ	5	1.2%
問診のみ	102	24.3%
合 計	420	100.0%

※平成22年3月31日現在

注1: 医学的所見については、胸部X線検査および胸部CT検査の結果を踏まえ、石綿ばく露に関連する可能性がある①～⑨及びその他の所見⑩(石綿ばく露に関連しない)を確認する。(重複含む)

- ①胸水貯留
- ②胸膜プラーク(限局性の胸膜肥厚斑)
- ③びまん性胸膜肥厚
- ④中皮腫
- ⑤肺野の間質影
- ⑥円形無気肺
- ⑦肺がん
- ⑧リンパ節の腫大
- ⑨その他の所見

※③または⑥の所見が見られ石綿以外の原因である可能性が高いと判断した場合は⑩としている。

※H21から④は中皮腫、⑧は肺がんに変更しているため、H20以前に記載している④は胸膜腫瘍疑い、⑧は肺野の腫瘍状陰影となる。

また、H20以前の⑤胸膜下曲線様陰影については、H21から⑥の肺野の間質影に統一している。

※H21から所見が疑いとされた場合は所見番号の後ろに「疑」を記載している。

注2:ばく露歴については、該当するものにすべて●を記入(ア～オは重複可)

- ア. 直接石綿を取り扱っていた職歴がある者
- イ. 直接ではないが、職場で石綿ばく露した可能性のある職歴がある者
- ウ. 家族に石綿ばく露の明らかな職歴がある者で作業具を家庭内に持ち帰ることなどによる石綿ばく露の可能性が考えられる者
- エ. 職域以外で石綿取扱い施設や吹き付け石綿の事務室等に立ち入り経験がある者
- オ. 上記ア～エ以外のばく露の可能性が特定できないもの(居住地や学校・職場等の周辺に石綿取扱い施設がある場合も含む)  
(「具体的なばく露歴」の記入例)

例1 幼少期(S25-27頃)に石綿工場で遊んだ経験があり、父が石綿工場で勤務していた → ウとエ

例2 石綿工場近くの○○小学校にS30-35の6年間通学 → オ

例3 S28-40の間、設備の点検のため石綿工場に定期的に出入りしていた。かつ、住居が石綿工場に近接(S26-50に○○1丁目に居住)していた → イとオ

イとエの分類が紛らわしいものの例：業務上で吹き付け石綿がある場所や石綿工場の敷地内に立入する場合は、原則「イ」とする。  
ただし、作業現場以外(事務室・当直室・食堂など)への立入に限っては「エ」とする。

注3:ばく露歴分類案については、各事案のばく露要因を1つに分類するもの。なお、複数のばく露歴がある者については、基本的に下記に従うものとする

- ア. 直接石綿を取り扱っていた職歴がある者
- イ. 上記アに該当せず、直接ではないが、職場で石綿ばく露した可能性のある職歴がある者
- ウ. 上記ア～イに該当せず、家族に石綿ばく露の明らかな職歴がある者で作業具を家庭内に持ち帰ることなどによる石綿ばく露の可能性  
が考えられる者
- エ. 上記ア～ウに該当せず、職域以外で石綿取扱い施設や吹き付け石綿の事務室等に立ち入り経験がある者
- オ. 上記ア～エに該当しないもの

上記以外による分類が適当であると考えられる場合や判断が困難な場合には、症例番号と具体的な内容を記入し、具体的な分類については環境省と相談することとする。

注4: 経過観察・終了の欄については、調査終了の場合に「終」とその理由を記入する

注5: 備考欄については、特記事項を記入する

(例1:X線・CT以外の検査を実施した場合の検査項目の記入、例2:石綿救済制度や労災制度の認定や申請中である旨の記入 等)

A表：昭和51年以前に羽島市に居住していた者のばく露歴集計表

ア.直接職歴あり	イ.間接職歴あり	ウ.家庭内ばく露あり	エ.立入・屋内環境ばく露あり	オ.その他	小計	うち女性
●					13	2
●	●				1	0
●		●			2	0
●			●		3	0
●				●	21	4
●	●	●			0	0
●	●		●		0	0
●	●	●		●	3	0
●		●	●		0	0
●		●		●	0	0
●		●	●		3	0
●	●	●	●		0	0
●	●	●		●	0	0
●	●	●	●	●	1	1
●	●	●	●	●	0	0
●	●	●	●	●	5	0
●	●	●			1	1
●	●		●		2	0
●	●	●	●	●	13	8
●	●	●	●		0	0
●	●	●		●	3	2
●	●	●	●	●	1	0
●	●	●	●	●	3	3
●		●			12	8
●		●	●		3	3
●		●		●	27	20
●		●	●	●	14	10
●			●	●	7	3
●			●	●	43	21
●			●	●	239	162
計*	47	32	66	80	371	420
うち女性*	7	14	48	41	231	248

\* 縦計については重複計上

A-2表：昭和51年以前に羽島市に居住していた者のばく露歴及び年齢階層別分類表

	計	うち女性	ア. 主に直接職歴	うち女性	イ. 主に間接職歴	うち女性	ウ. 主に家庭内ばく露	うち女性	エ. 主に立入・屋内環境ばく露	うち女性	オ. その他	うち女性
40歳未満	30	14	1	0	1	0	3	1	9	2	16	11
40～49歳	46	28	2	0	3	2	10	7	8	5	23	14
50～59歳	64	42	8	2	5	2	8	7	5	2	38	29
60～69歳	153	100	19	1	9	4	21	18	17	10	87	67
70～79歳	101	55	12	3	8	5	11	7	10	5	60	35
80～89歳	24	9	5	1	2	1	1	1	1	0	15	6
90～99歳	2	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0
合計	420	248	47	7	28	14	56	41	50	24	239	162

B表:昭和18~51年に羽島市に居住していた者に関するばく露歴と医学的所見のクロス集計表

(B-1 所見について)

	計	うち女性	ア.主に直接職歴	うち女性	イ.主に間接職歴	うち女性	ウ.主に家庭内ばく露	うち女性	エ.主に立入・屋内環境ばく露	うち女性	オ.その他	うち女性
石綿関連所見(疑いを含む)実人数	170(11)	94(8)	20(2)	3	17	9	28(2)	19(1)	12	8	93(7)	55(6)
①胸水貯留	2	0							2	0		
②胸膜プラーク	169(5)	93(5)	20	3	17	9	28	19	12	8	92(5)	54(5)
③びまん性胸膜肥厚	3	1			1	1			1	0	1	0
④中皮腫	3(2)	3(2)					1(1)	1(1)			2(1)	2(1)
⑥肺野の間質影	12(3)	4(1)	2(2)	0	1	0	1(1)	1(1)	0	0	8	3
⑦円形無気肺	1	1							1	1		
⑧肺がん	1(1)	0									1(1)	0
⑨リンパ節の腫大	0	0										

※①~⑨は重複計上含む

※( )は所見疑いを再掲

※③または⑥の所見が見られ石綿以外の原因である可能性が高いと判断した場合は計上していない。

## (6)肺野の間質影の詳細分類

	計	うち女性	ア.主に直接職歴	うち女性	イ.主に間接職歴	うち女性	ウ.主に家庭内ばく露	うち女性	エ.主に立入・屋内環境ばく露	うち女性	オ.その他	うち女性
肺野の間質影実人数	12(3)	4(1)	2(2)	0	1	0	1(1)	1(1)	0	0	8	3
胸膜下曲線様陰影	9(3)	3(1)	2(2)	0	1	0	1(1)	1(1)	0	0	5	2
胸膜下曲線様陰影うち直下(再)	8(3)	3(1)	1(1)	0	1	0	1(1)	1(1)	0	0	5	2
胸膜下曲線様陰影うち非直下(再)	1(1)	0	1(1)	0	0	0	0	0	0	0	0	0
小葉中心性粒状影	1	1									1	1
すりガラス様陰影												
網状影	3	0									3	0
蜂窩肺												
肺実質内帶状影												

※( )は所見疑いを再掲

※石綿以外の原因である可能性が高いと判断した場合は計上していない。

## (3)びまん性胸膜肥厚、(6)肺野の間質影の所見における石綿との関連

③びまん性胸膜肥厚	計	うち女性	ア.主に直接職歴	うち女性	イ.主に間接職歴	うち女性	ウ.主に家庭内ばく露	うち女性	エ.主に立入・屋内環境ばく露	うち女性	オ.その他	うち女性
強く疑う												
疑う	1								1	0		
可能性がある	2	1			1	1					1	0
合計	3	1			1	1			1	0	1	0
他の原因である可能性が高い	1	0	1	0								

※( )は所見疑いを再掲

⑥肺野の間質影	計	うち女性	ア.主に直接職歴	うち女性	イ.主に間接職歴	うち女性	ウ.主に家庭内ばく露	うち女性	エ.主に立入・屋内環境ばく露	うち女性	オ.その他	うち女性
強く疑う	2	1									2	1
疑う	3	1			1						2	1
可能性がある	7(3)	2(1)	2(2)	0			1(1)	1(1)			4	1
合計	12(3)	4(1)	2(2)	0	1	0	1(1)	1	0	0	8	3
他の原因である可能性が高い	8	1					1				7	1

※( )は所見疑いを再掲

(B-2 胸水貯留、胸膜プラーク、びまん性胸膜肥厚、肺野の間質影の所見が見られた者の年齢階層別分類表)

①胸水貯留

	計	うち女性	ア. 主に直接職歴	うち女性	イ. 主に間接職歴	うち女性	ウ. 主に家庭内ばく露	うち女性	エ. 主に立入・屋内環境ばく露	うち女性	オ. その他	うち女性
40歳未満												
40~49歳												
50~59歳												
60~69歳												
70~79歳	2	0							2	0		
80~89歳												
90~99歳												
合計	2	0							2	0		

※( )は所見疑いを再掲

②胸膜プラーク

	計	うち女性	ア. 主に直接職歴	うち女性	イ. 主に間接職歴	うち女性	ウ. 主に家庭内ばく露	うち女性	エ. 主に立入・屋内環境ばく露	うち女性	オ. その他	うち女性
40歳未満	4	2	0	0	1	0	1	1	0	0	2	1
40~49歳	15	8	1	0	2	2	5	3	2	1	5	2
50~59歳	15	5	4	1	2	1	3	2	0	0	6	1
60~69歳	69(4)	49(4)	9	1	6	4	10	9	4	4	40(4)	31(4)
70~79歳	52(1)	26(1)	4	1	4	1	7	4	5	3	32(1)	17(1)
80~89歳	12	3	2	0	2	1	0	0	1	0	7	2
90~99歳	2	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0
合計	169(5)	93(5)	20	3	17	9	28	19	12	8	92(5)	54(5)

※( )は所見疑いを再掲

③びまん性胸膜肥厚

	計	うち女性	ア. 主に直接職歴	うち女性	イ. 主に間接職歴	うち女性	ウ. 主に家庭内ばく露	うち女性	エ. 主に立入・屋内環境ばく露	うち女性	オ. その他	うち女性
40歳未満												
40~49歳	1	0									1	0
50~59歳												
60~69歳												
70~79歳	1	0							1	0		
80~89歳	1	1			1	1						
90~99歳												
合計	3	1			1	1			1	0	1	0

※( )は所見疑いを再掲

④肺野の間質影

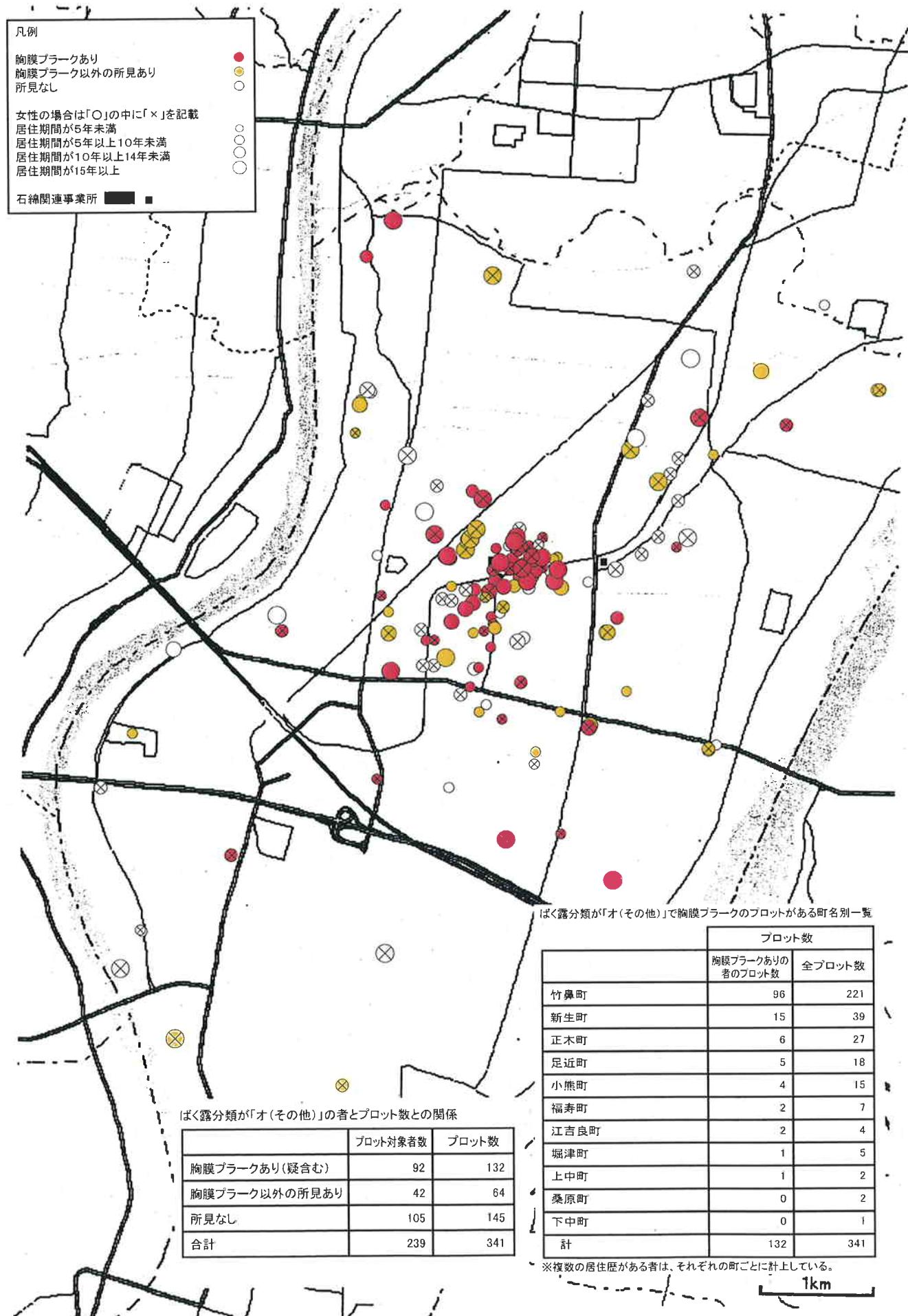
	計	うち女性	ア. 主に直接職歴	うち女性	イ. 主に間接職歴	うち女性	ウ. 主に家庭内ばく露	うち女性	エ. 主に立入・屋内環境ばく露	うち女性	オ. その他	うち女性
40歳未満												
40~49歳												
50~59歳												
60~69歳	5(2)	4(1)	1(1)	0			1(1)	1(1)			3	3
70~79歳	5	0									5	0
80~89歳	2(1)	0	1(1)	0	1	0						
90~99歳												
合計	12(3)	4(1)	2(2)	0	1	0	1(1)	1(1)			8	3

※( )は所見疑いを再掲

(C-3 調査対象者の状況)

	計	うち女性	ア. 主に直接職歴	うち女性	イ. 主に間接職歴	うち女性	ウ. 主に家庭内ばく露	うち女性	エ. 主に立入・屋内環境ばく露	うち女性	オ. その他	うち女性
経過観察者	414	246	44	7	28	14	56	41	49	24	237	160
調査終了者	6	2	3	0	0	0	0	0	1	0	2	2
合計	420	248	47	7	28	14	56	41	50	24	239	162

C図：ばく露歴分類が「オ(その他)」の者に関するプロット図



## 石綿の健康リスク調査に参加し、医療の必要があると判断された者の診断経過について

平成20年度に石綿の健康リスク調査に参加し、医療の必要があると判断された者がその後、医療機関でどのような診断を受けているのか確認するため、本人から承諾を得て医療機関に照会を行った。

結果は、中皮腫1人、肺がん2人、良性石綿胸水1人であった。

このうち、労災保険制度の認定を受けた者が2人であったことが本人や家族への問い合わせにより確認された。

### 平成20年度に健康リスク調査へ参加し、医療の必要があると判断された者のその後の診断経過

	計	うち女性	ア.主に直接職歴	うち女性	イ.主に間接職歴	うち女性	ウ.主に家庭内ばく露	うち女性	エ.主に立入・屋内環境ばく露	うち女性	オ.その他	うち女性
対象者	5	0	2		1				2			
石綿関連疾患(疑いを含む)	4		2						2			
a 中皮腫		1		1								
b 肺がん		2		1						1		
c 石綿肺												
d 良性石綿胸水		1								1		
e びまん性胸膜肥厚												

※( )は、疾患疑いを再掲

※肺がんについては、石綿以外の原因によるものも含まれている。